

令和5年度 津波防災の日 スペシャルイベント

「岩手県大槌町(安渡地区)に おける津波防災の取組」

2023年11月5日(日)

大槌町 安渡町内会
会長 佐々木 慶一

自己紹介 佐々木慶一

大槌町出身

昭和36年(1961年)7月25日生

昭和55年 新日本製鐵(株)(現日本製鉄(株))釜石製鐵所入社

平成14年 安渡一丁目町内会役員就任(40歳)

平成20年 安渡一丁目町内会 会長就任(46歳)

平成23年 東日本大震災後、安渡一丁目町内会解散

平成24年 (新)安渡町内会設立 副会長就任(50歳)

平成26年 安渡町内会 会長就任(52歳)

令和元年10月 日本製鉄(株)→産業振興(株)へ転籍

内 容

1. 安渡の津波被害状況
2. 地区防災計画の策定
3. 共助を前提とした15分ルール of 策定
4. 共助のベースとなるコミュニティ

大槌町安渡地区の位置と 東日本大震災による 津波浸水範囲



(出典) 左地図: 国土地理院(23年5月31日)、上地図: グーグル。

N 29 19 49.23 E 141 58 29.56

平成 23 年 5 月 31 日

国土地理院
Geographical Institute of Japan

東日本大震災の約1年前の安渡地区を北側から撮影



2010年1月10日。安渡一丁目高台から撮影

'10 1 10

3.11の津波が安渡地区を襲う瞬間



2011年3月11日 安渡一丁目の高台から、撮影

津波襲撃後の安渡地区





2020/10/25

2020.10.25

東日本大震災による安渡地区の被害

➤ **安渡地区における3.11による死亡者数:218人**
(これは町全体の死亡者数の28%を占める)。

➤ **安渡地区の死亡率**(人口1,943人に占める死亡者数の割合)：
11%

地区名	人口	世帯数	死亡者数	行方不明者数
大槌町全体	15,994	6,348	797	437
安渡地区	1,943	824	218	

(出典)第2回安渡町内会防災計画づくり検討会(2012年7月29日)での配布資料を一部修正。

地区防災計画策定等の取組

「安渡町内会防災計画づくり検討会」の取組

- **3.11での災害対応の検証**
(避難行動、被災要因分析)
- **検証結果を踏まえての、自主防災計画の見直し**
- **その他** (アーカイブスなど)

浮かび上がった問題・課題

➤ 避難行動による被災者

①避難後、低地に戻った犠牲者

②車避難で助かった人、犠牲になった人

③逃げようとしなかった人、逃げるできなかった人

➤ 避難訓練と被災者

①決まった時間に、決まった場所に逃げるだけの避難訓練

(昭和三陸地震津波 S8.3.3 AM2:30)

②避難誘導班の犠牲者

➤ コミュニティと被災者

①民生委員、消防団員の犠牲者

助けようとした人が
犠牲になった

防災計画における共助のあり方の議論

- 助けようとする人の命を守る ← 議論のスタートの視点

「15分ルール」の制定

助ける側の人 : 基本的に「声かけ率先避難」

救助を行う場合、地震後15分が経過したら

全ての救助活動を中止し、自分も避難。



- 救助を中断して自分だけ避難することができるか？
- できないなら、15分ルールの意味は？



15分が来る前に、救助する人が悩まない状況を作る

→ 15分ルールの本質

助けられる人 : 自助意識を持つこと

自分や家族だけの力で、せめて玄関先までは
出てきてもらう。

これを15分以内に行う ← 「15分ルール」の本質的な意味
その後は共助に頼る。

しかし、助ける側の人への命の保証もしなければならない。

「15分ルール」 → **「ぎりぎりの共助」** 共助の限界の認識

共助の育み

「最大の防災対策は、
地域コミュニティ(共助)の醸成」

震災前後の安渡の人口・世帯数



震災後の課題

- **生業の再生・創出**
- **防災意識の維持**
- **地域コミュニティの再構築**

震災後、再開した地域活動例

1月 春交流会

3月 地震津波避難訓練

~~**5月 ソフトボール大会(未)**~~

6月、9月 地域一斉清掃

8月 つけ木まんじゅう作り

8月 盆踊り会

10月 安渡地区運動会(昨年10月)

~~**11月 能発表会、文化祭(隔年交互開催)**~~

1月 新春交流会



令和2年
安渡地区新春交流会



3月 地震津波避難訓練



1.3.11

8月 盆踊り会



10月 安渡地区運動会

(2022年、12年ぶりに復活)



運動会後の懇親会



今後の安渡地区

住民の数が震災前の3分の1以下となった地域での地域コミュニティの再構築と、地域コミュニティをよりどころとする「共助防災」への取り組みを進める

ご清聴
ありがとうございました

2012/3/11

毎年3月11日に見かける風景